

一般質問



ひろの ふうお
廣野 房男 議員

問 「交通安全モデルの町」実現へ

答 必要性を充分考えている



安全を守り一斉下校（豊坂小学校）

問 通学路の危険箇所点検と、対策の進み具合は。
答（建設部長） 毎年、通学路安全推進会議で、危険箇所の対策を検討し、実施している。

問 今年度の実施率は50%。
答 「国土交通省」から出された、「子どもの交通安全対策について」本町の対応は。
答 警察、県、町で連携し

て取り組みを始めている。
問 交通安全施設整備事業予算が減額しているが、今年度の交通安全対策の概要は。
答 グリーンベルト、標識、カラー舗装、道路照明灯などの整備、補修を行う。歩行者の右左折巻き込まれ事故防止のため、歩車分離式の信号システムの導入を。

問 耕作放棄地の復活の方策は

答 耕作希望者の推進マッチング

答 交差点での交通事故を減らす効果はあるが、渋滞の発生が懸念される。
問 区画整理事業と同時に、その区域周辺の道路の改善も計画して行つべきではないか。
答 実態や課題を整理し、道路改良を検討していく。実現へ、町長の考えは。
問 「交通安全モデルの町」
答（町長） 安全安心な町づくりを進めていく必要性を充分考えている。

農業は、幸田町の産業として大事な部分を占めている。優れた作物を育てていた農地を復活させる施策を。
問 耕作放棄地や遊休農地の現状の把握と復活への進め方は。
答（環境経済部長） 昨年の調査で、8万6772㎡の遊休農地を確認。所有者に対して利用の確認調査をし、貸し出す意向のある人には、耕作希望者とのマッチングを

推進している。
問 住宅に隣接した、面積も少ない農地は、地目変更を容易にして、利用しやすく出来ないか。
答 関係法令など、複雑な手続きもあるので、農業委員会へ申し出を。
問 町内に点在している町有地の草刈り作業など、地元任せなら、それなりの手当てが必要ではないか。
答（建設部長） 赤道などの狭小な道路の日常管理は対応できていない。報奨金は、今後の検討課題。
答（総務部長） 基本的には、所管課で管理している。今後とも適正な管理に努めていく。

一般質問



都築 一三 議員

問 リターナブルビンでゴミ減量を

答 環境にやさしいがビンは減少



不法投棄で通行止めの林道（大井池）

問 使い捨てのないリターナブルビンの川口方式で、さらなるゴミ減量と幸田の特色を。

答〔環境経済部長〕 環境にやさしいが、減少しており、復活はかなり厳しい。

問 競争入札の業者と入札結果は。

答 中部保全に、年270万6000円で委託。

問 広域化、新焼却施設の負担金は。

答 岡崎西尾地域にごみ処理広域化は、令和12年度使用開始に向け協議を進めている。

問 乾電池の最終処分は。

答 北海道北見市の野村興産に処分を委託。

問 ゴミ対策の女の子の看板は。

答 不法投棄禁止を訴えて

いる。

問 朱塗の鳥居看板設置は。

答 不法投棄防止を目的に、平成30年度10基購入。長嶺2、狹1、桐山1カ所に設置。

問 大井池周辺にモミジを植えて観光地に。

答 沿線の安全面で難しい。

問 額田町おのだの森の様にモミジの植林を。

答〔町長〕 観光地として整備するよう調整したい。

問 幸田小学校校歌の最明山に看板設置を。

答〔教育部長〕 現地調査し、根拠に基づいた説明看板とし検討する。

問 ひきこもり課の新設を

答 専門的に引き続き連携する

設を。

答〔健康福祉部長〕 805

0問題が、高齢化率の上昇などで増加してくるのではと思っている。

基幹支援事業所の精神保健福祉士が、専門的に対応しており、引き続き連携する。

問 NPO法人などこの会を承知か。

答 発達障害やいろいろな問題を抱えている人を、支援活動しているNPO法人と聞いている。今後の活動を注視したい。

問 ワーキングプア対策は。

答 ワーキングプアに特化した調査は行っていないが、相談事業を進める中で、家庭が持っている問題を、把握できる事例がある。